

事務事業 No./名 称	■サービス部門 □支 援 部 門 都調-04 建築指導事務									
主管課	建築指導課				関連課					
分野名	住宅・住環境									
目標 (目標値)	安全で安心して使用できる建築物の普及および建築技術の向上を目指す。 (完了検査率を80%以上にする)									
人口等のデータ	データ区分	25年度		24年度		23年度		備 考		
	人 口	177,895人		177,224人		177,204人		・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世 帯 数	80,295世帯		79,669世帯		79,217世帯				
	事業の対象者数									
運営資源状況	決算値(千円)	7,556		7,612		7,837				
	(国・県)									
	(負担金等)									
	(一般財源)	7,556		7,612		7,837				
	人員配置数	12.0人		12.0人		12.0人				
	人 件 費(千円)	91,140		94,930		102,200				
	協働のパートナー									
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	98,696		102,542		110,037				
	市民1人当りの経費(円)	555		579		621				
	対象者1人当りの経費(円)									
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒									
指 標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)			
完了検査率	◎	目標値	80%	80%	80%	80%	80%			
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	92.0%	93.0%	92.0%	93.0%				

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
建築指導事務	7,556	建築指導事務	12,249	今後の 方向性	B	理由 ・手法	引き続き、中間・完了検査についてのお知らせ文の配布等を行い、安全で安心して使用できる建築物の普及および建築技術の向上を目指す。
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	国から要請されている建築行政マネジメント計画の策定。													
課題解決のための取組	建築行政マネジメント計画の策定について、現在作業中である。							取組の結果	□解 決 ■未解決					
未解決の課題	建築行政マネジメント計画の策定。(計画内に盛り込む必要がある鎌倉市耐震改修促進計画の、見直し等があるため)													
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)				①効率性		○	②妥当性		○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	建築行政マネジメント計画を策定する。 引き続き、中間・完了検査についてのお知らせ文を配布する等、検査率の更なる向上に努める。										A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止		B	
	※□事業完了													

評価者名

建築指導課担当課長

都筑 征史

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の 視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
建築指導 事務	建築基準法等に基づく建築確認、許認可事務				○	○	○	○	
	主な 個別 事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		279	建築審査会委員報酬 3人	320	160	○	○	○	○
		279	事務補助嘱託員報酬 2人	2,057	2,006	○	○	○	○
		279	臨時的任用職員賃金 1人	473	426	○	○	○	○
		279	事務補助嘱託員等費用弁償	297	224	○	○	○	○
		279	消耗品費	416	416	○	○	○	○
		279	印刷製本費	12	0	△	○	○	○
		279	維持修繕料	1	0	○	○	○	○
		279	特定行政庁団体賠償責任保険保険料	50	50	○	○	○	○
		279	特殊建築物等定期報告業務委託料	3,309	2,843	○	○	○	○
		279	建築基準法に基づく構造計算適合性判定業務委託料	1,440	156	△	○	○	○
		279	長期優良住宅の認定に係る技術的審査業務委託料	367	0	△	○	○	○
		279	低炭素建築物の認定に係る技術的審査業務委託料	802	0	△	○	○	○
		279	長期優良住宅等の認定に係る構造計算適合性判定業務委託料	1,512	0	△	○	○	○
		※□	279	建築確認支援システム機器賃借料	756	756	○	○	○
事業完了	279	建築行政共用データベースシステム利用料	98	16	○	○	○	○	
	279	神奈川県建築物震後対策推進協議会等負担金	503	503	○	○	○	○	

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な 個別 事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		※□							
		事業完了							

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な 個別 事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		※□							
		事業完了							

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な 個別 事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		※□							
		事業完了							